



第3編

基本計画



施策の体系

章	基本施策	単位施策
第1章 学びあい育ちあう 自分らしさと夢を 育むまち	1 育ちの支援	1 子どもと子育て家庭 2 幼児教育・保育 3 義務教育
	2 学びの応援	1 学びの推進 2 文化の振興と継承
第2章 地球に配慮しながら 成長する都市の 活力を育むまち	1 観光・産業	1 観光 2 企業立地 3 農業 4 商工業
	2 環境	1 脱炭素社会 2 循環型社会 3 生活環境
第3章 つながり助けあう 健康と笑顔を 育むまち	1 地域福祉	1 地域福祉 2 高齢者福祉 3 障がい者福祉
	2 健康	1 健康づくり 2 スポーツ
	3 医療体制	1 地域医療体制 2 半田病院
第4章 安心・安全で 快適な生活 質の高い暮らしを 育むまち	1 安心・安全な社会	1 防災・減災 2 交通安全 3 生活安全 4 消防・救急
	2 都市空間	1 市街地 2 景観・公園 3 移動環境
	3 都市基盤	1 道路 2 水道 3 下水道 4 港湾
第5章 互いを尊重し 知恵と力を活かしあう 豊かさを育むまち	1 協働	1 情報共有 2 コミュニティ活動 3 市民活動
	2 共生社会	1 多文化共生社会 2 自分らしく生きられる社会
	3 行財政	1 行政運営 2 財政運営

基本計画の構成

章・基本施策

施策の体系に位置付けられている各分野の基本的な方向を示しています。

第1章 学びあい育ちあう 自分らしさと夢を育むまち

基本施策

1 育ちの支援



施策が目指す半田市の将来の姿

10年後の半田市が目指すまちの状態を示しています。

施策が目指す半田市の将来の姿

- 子どもたちが夢や目標を持ち、豊かな人間性・社会性、健やかな心と体が育まれています。
- 地域に見守られながら、子どもたちが安心・安全に楽しく、充実した生活を送っています。

基本成果指標

半田市の将来の姿を数値で示したパラメータ(指標)です。

基本成果指標

	単位	現状値		目標値	
		年度	基準値	2025 (R7) 年度	2030 (R12) 年度
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	%	2019 (R1)	82.1 (小6) 65.6 (中3)	83 (小6) 68 (中3)	85 (小6) 70 (中3)
半田市で子育てをして良かった、子育てをしたいと思う市民の割合	%	2020 (R2)	52.6	60	65

現状と課題

- 必要な支援を切れ目なく提供するために、相談窓口の統合が必要です。
- 夫婦共働き家庭の増加や子どもを取り巻く環境の変化に対応するため、安心・安全な放課後等の子どもの居場所が求められています。
- すべての子どもたちが健やかに成長するために、子育て家庭が孤立しないよう、地域と連携した子育て支援事業の充実が必要です。
- 低年齢保育や幼保一体化、延長保育、特別な支援の必要な子どもへの教育・保育、特徴ある教育・保育など多様化するニーズへの対応が求められています。
- 年度途中に発生する低年齢児の待機児童対策が必要です。
- 市内には、普通科のほか、農業・工業・商業などの専門学科を学ぶ高等学校、大学など多様な教育施設があり、教育環境が充実しています。
- グローバル化、ICT化など多様化する学習内容・学習形態の変化に対応することが必要です。
- 児童生徒の抱える悩みや様々な問題に対し、柔軟に取り組むことが必要です。
- 本来の教育活動に必要な時間を生み出す教員の働き方改革が必要です。
- 学校を始めとする各施設の老朽化が進んでいるため、施設・設備の改修・更新が必要です。

現状と課題

各基本施策の現状と課題をまとめたものです。

基本計画の構成

単位施策・個別施策

将来の姿や現状と課題を踏まえ、施策内容を示しています。

単位施策・個別施策

1 子どもと子育て家庭

① 切れ目のない体制の整備

安心して子どもを産み育てられるよう、必要な知識や子育て情報を提供するとともに子育て家庭に寄り添い、妊娠期から出産、子育て期まで切れ目なく支援します。

② 健全育成のための環境づくり

子どもたちが心身ともに健やかに育つための良好な環境を保ち、放課後等の安心・安全な居場所づくりに取り組みます。

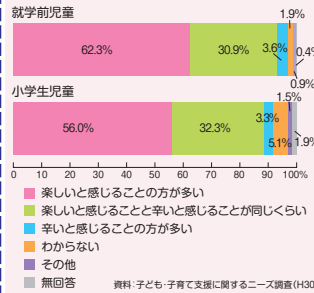
③ 子どもの個に応じた支援の充実

すべての子どもが自分らしく成長できるよう、子どもや家庭に必要な配慮やきめ細やかな支援を実施します。

④ 地域で子育てを支える仕組みづくり

子育て家庭が孤立することなく安心して子育てができるよう、身近な地域で支える関係や仕組みづくりを進めます。

子育ての楽しさアンケート



リーディング事業

- 母子保健・子育て支援サービス利用者支援相談事業
- 地域子育て支援拠点事業
- こんにちは赤ちゃん訪問事業
- 放課後児童健全育成事業

リーディング事業

単位施策の核となるもので、他の事業へ波及するなど、単位施策を牽引する事業を示しています。

2 幼児教育・保育

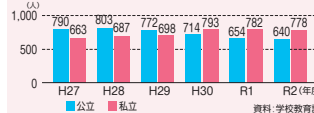
① 幼児教育・保育の質の向上

職員研修の充実などにより教育・保育の質の向上を図り、幼児期に必要な力を育てます。また、幼保小中・家庭・地域との連携、子育て相談、特別な支援の必要な子どもへの教育・保育などを推進します。

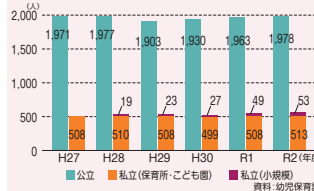
② 幼児教育・保育の環境づくり

公立保育園等において、老朽化する施設の建替・大規模修繕を進めるとともに、身近な地域で、保護者の就労の有無によって区分されることなく、等しく教育・保育を受けることができる「こども園化」や保護者の多様な教育・保育ニーズに対応するために「民営化」を行います。また、あわせて待機児童の解消を図ります。

幼稚園園児数(認定こども園短時間利用児含む)



保育園園児数(認定こども園長期時間利用児含む)



リーディング事業

- こども園化事業
- 公立保育園等民営化事業
- 民間保育所運営事業・地域型保育事業
- 児童発達支援センター地域支援事業

チャレンジ2030

課題解決のために、2030年に向けトライ&エラーを重ねながら取り組むものを示しています。先進性を備えた取組で実現可能性は必ずしも高くはないが、チャレンジが実現することで、本市の目指す将来の姿の実現が大きく前進すると考えるものです。

CHALLENGE チャレンジ 2030

- 1 相談窓口を統合化し、子どもや子育て家庭に必要な支援を切れ目なく提供する体制を整備します。
- 2 普段は放課後児童クラブ等の子どもの預かり事業を利用していないものの、長期休暇中は日中の子どもを預かってほしいというパート勤務等の保護者のニーズに応える、長期休暇中のみの子どもの預かり事業を実施します。
- 3 小学校の利用状況や更新計画にあわせて、学校内に子どもの居場所を整備します。
- 4 放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一生涯学習施設」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。
- 5 キャリア教育について、コミュニティ・スクール制度などを活かし、これまでの学校・行政の取組に加え、保護者・地域の協力を促し推進力を高めます。
- 6 個別の支援を要する子どもたちについて、インクルーシブ教育などの新たなニーズにも柔軟に対応するとともに、就労、高等学校への就学も考慮し、関係機関との連携体制を着実に構築することで切れ目のない支援の充実を図ります。
- 7 日本語を話すことができない外国籍児童等に、初期の日本語指導や学校生活指導を一定期間集中的に行う事業を実施します。
- 8 グローバル化の進展を踏まえ、日本の伝統・文化・歴史などの理解を深めるとともに、外国語教育の充実やICTの活用により、外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成します。

関連個別計画

基本施策に関連する個別計画等を示しています。

関連 個別計画

- 子ども・子育て支援事業計画
- 障がい児福祉計画
- 保育園等公民連携更新計画
- 学校教育HANDAプラン
- 小中学校施設長寿命化計画

SDGsアイコン

SDGsの17の目標のうち、基本施策に関連のある目標をアイコンで示しています。

関連するSDGs

